

## 新農薬の紹介

# 新規殺虫剤インスカリス® (セフィーナ®DC) の特長

BASF ジャパン株式会社 たけ  
だ  
はるか  
遼

### はじめに

インスカリス® (アフィドピロペン) は、学校法人北里研究所と Meiji Seika ファルマ株式会社 (現・株式会社 MMAG) の共同研究により見いだされた糸状菌由来のピリピロペン A をリード化合物として構造を改変したピロペン系の殺虫剤である。害虫の行動にかかわる感覚神経系をかく乱し、害虫の摂食、生殖、定位等の行動を抑制することで、間接的に殺虫効果を示すと考えられている。弦音器官 TRPV (一過性受容体電位パニロイド) チャンネルモジュレーターであるインスカリス®はそのユニークな化学構造から、IRAC 分類において、サブグループ 9D に分類されている。本剤は既存の薬剤に対し抵抗性を発達させた害虫においても高い効果を示し、抵抗性管理における有効な薬剤となる。日本においては、2016 年より BASF ジャパン株式会社が BAI-1603DC の試験番号で一般社団法人 日本植物防疫協会を通じて公的試験を開始し、畑作物分野のアブラムシ類に対して優れた効果を有することが確認された。2022 年 10 月 26 日、商品名セフィーナ®DC (アフィドピロペン 4.9%) として登録が認可された (登録番号 24663, 表-1)。セフィーナ®DC は、植物への有効成分の付着性および拡張性に優れる製剤処方では、速効的な吸汁抑制によるウイルス感

染抑制、浸達性、耐雨性、効果の持続性を発揮する。本報ではセフィーナ®DC の作用特性について紹介する。

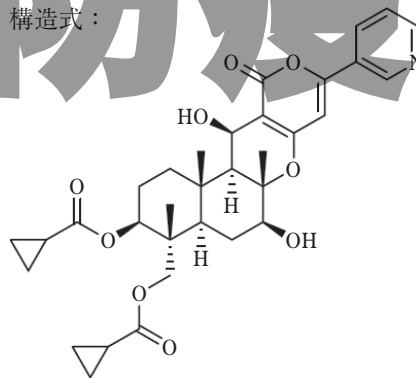
### I 有効成分と物理化学的性状

一般名：アフィドピロペン (afidopyropen)

化学名 (IUPAC) : [(3*S*,4*R*,4*aR*,6*S*,6*aS*,12*R*,12*aS*,12*bS*)-3-(シクロプロパンカルボキシルオキシ)-6,12-ジヒドロキシ-4,6*a*,12*b*-トリメチル-11-オキソ-9-(ピリジン-3-イル)-1,2,3,4,4*a*,5,6,6*a*,12*a*,12*b* デカヒドロ-11*H*,12*H*-ベンゾ [f]ピラノ [4,3-*b*]クロメン-4-イル]メチルシクロプロパンカルボキシレート

CAS 登録番号：915972-17-7

構造式：



分子式：C<sub>33</sub>H<sub>39</sub>NO<sub>9</sub>



表-1 セフィーナ®DC の登録内容 (2022 年 10 月現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフィドピロペンを含む農薬の総使用回数
小麦	アブラムシ類	2,000~4,000 倍	60~150 l/10 a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
はれいしょ			100~300 l/10 a				
てんさい							

Features of INSCALIS® (Sefina®DC), a Novel Insecticide. By Haruka TAKEDA

(キーワード：インスカリス, セフィーナ, アフィドピロペン, ピリピロペン A, IRAC グループ 9D, テンサイ黄化病)